平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　ダイナパック株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　3947　URL　http://www.dynapac-gr.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小嶋　厚
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 草野　雅夫　TEL 052(971)2651

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	21,899	△1.4	616	10.0	821	4.1	570	56.8
24年12月期第2四半期	22,206	1.0	560	△14.4	788	1.4	364	31.4

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　1,621百万円　(75.9%)　24年12月期第2四半期　921百万円　(362.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	11.55	11.52
24年12月期第2四半期	7.37	7.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	53,987	31,010	57.4
24年12月期	53,055	29,787	56.1

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　30,972百万円　24年12月期　29,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	8.00	8.00
25年12月期	―	0.00			
25年12月期(予想)			―	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△0.5	1,450	△8.5	1,700	△12.0	1,300	△1.9	26.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	51,612,959 株	24年12月期	51,612,959 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	2,210,234 株	24年12月期	2,204,969 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	49,407,444 株	24年12月期2Q	49,404,879 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照願います。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の景気後退局面を脱して緩やかな回復過程を辿りました。内需が復興需要や緊急経済対策の効果から公共投資を中心として増勢を維持し、輸出も円安を追い風に増加に転じました。雇用・所得面における厳しさは続いたものの、景気回復への期待感を背景として消費者マインドが改善し個人消費も底堅く推移しました。このため、鉱工業生産が持ち直し企業収益も改善の動きが明確となりました。海外経済においては、米国が財政面の課題を金融緩和策の強化で補い景気を支えているものの、ユーロ圏の景気低迷長期化や中国の成長鈍化などのリスク要因を含んだ状況が続きました。

段ボール業界においては、総需要の過半を占める食料品分野における消費が堅調に推移しており、業界の１～６月累計（６月は速報値）の生産数量は前年比99.7％となりました。

このような環境下当社グループは、加工食品（飲料を含む）、青果物を中心とする食料品分野の拡販に努め、ほぼ前年並みの販売数量を確保しました。一方、電気・機械分野においては顧客の海外生産シフトの影響を避け難い状況にあります。このため、顧客構成の変化や製品の薄物化・軽量化に伴い販売単価は伸び悩み売上高は前年を下回りました。

生産面においては生産性、歩留り及び品質の向上に取り組み、採算改善に一定の成果をあげるとともに、主力事業所と周辺の衛星工場が連携して収益機会を追求することや生産設備のより効率的な運営に向けた活動に注力しております。

また、海外事業につきましては、昨年能力増投資を実施したベトナム（ハノイ）が日系および現地企業との取引基盤を拡充して現地の旺盛な需要を獲得しております。

その結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は218億99百万円(前年同期比98.6％)、営業利益６億16百万円(前年同期比110.0％)、経常利益８億21百万円(前年同期比104.1％)および四半期純利益５億70百万円(前年同期比156.8％)となりました。

セグメントの業績の状況は次のとおりであります。

①　包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は231億56百万円(前年同期比97.7％)、セグメント利益(営業利益)は６億３百万円(前年同期比95.7％)となりました。

②　不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は１億55百万円(前年同期比111.3％)、セグメント利益(営業利益)は81百万円(前年同期比85.5％)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ９億31百万円増加し539億87百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ株式市場が回復したことに伴い、保有している投資有価証券の含み益が増加したことなどによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ２億91百万円減少し229億76百万円となりました。これは、主に短期借入金の返済などによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億23百万円増加し310億10百万円となりました。これは、主に配当金の支払いなどの減少要因があったものの、株式市場の回復に伴う投資有価証券の含み益の増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加などの増加要因が上回ったことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し６億75百万円となりました。これは、営業活動により得られた資金13億11百万円、投資活動により使用された資金６億84百万円および財務活動により使用された資金７億18百万円によるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は13億11百万円(前年同期は14億70百万円)となりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益８億24百万円および減価償却費８億26百万円などを計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用された資金は６億84百万円(前年同期は11億68百万円)となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による支出６億55百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用された資金は７億18百万円(前年同期は３億26百万円)となりました。この主な要因は長期借入金の増加10億99百万円、短期借入金の減少８億25百万円および配当金の支払３億96百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済は、復興需要の継続、大型補正予算の編成、日銀の金融緩和策などのプラス効果に加え、幅広い財・サービスにおいて増加している個人消費の裾野が広がること、2013年度後半にかけて消費税率引き上げ（予定）前に住宅、自動車購入などの駆け込み需要が見込まれることから、回復傾向が強まるものとみられます。

なお、平成25年12月期の連結業績予想の詳細につきましては、平成25年８月２日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,409	675,030
受取手形及び売掛金	14,029,169	13,727,275
商品及び製品	554,234	661,598
仕掛品	183,618	211,415
原材料及び貯蔵品	977,166	1,091,295
繰延税金資産	531,723	393,794
その他	133,850	144,493
貸倒引当金	△14,018	△22,858
流動資産合計	17,107,155	16,882,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,325,160	16,498,726
減価償却累計額	△8,952,376	△9,235,830
建物及び構築物（純額）	7,372,784	7,262,895
機械装置及び運搬具	24,507,564	24,904,016
減価償却累計額	△18,492,683	△18,994,380
機械装置及び運搬具（純額）	6,014,880	5,909,636
土地	7,573,885	7,577,615
その他	2,119,321	2,308,644
減価償却累計額	△1,518,209	△1,612,203
その他（純額）	601,111	696,440
有形固定資産合計	21,562,661	21,446,588
無形固定資産	333,452	340,443
投資その他の資産		
投資有価証券	13,274,255	14,495,595
繰延税金資産	54,570	46,389
その他	940,891	996,722
貸倒引当金	△217,814	△220,775
投資その他の資産合計	14,051,903	15,317,931
固定資産合計	35,948,017	37,104,963
資産合計	53,055,172	53,987,009

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,970,667	10,644,875
短期借入金	4,360,149	3,356,304
1年内返済予定の長期借入金	250,000	387,500
未払法人税等	212,344	148,686
賞与引当金	376,679	231,588
その他	2,597,974	2,565,476
流動負債合計	18,767,815	17,334,430
固定負債		
長期借入金	62,500	750,000
繰延税金負債	2,129,949	2,530,893
退職給付引当金	1,855,603	1,902,439
その他	451,921	458,432
固定負債合計	4,499,974	5,641,766
負債合計	23,267,790	22,976,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	7,667,927	7,842,907
自己株式	△983,601	△984,118
株主資本合計	27,671,005	27,845,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,278,034	3,127,790
為替換算調整勘定	△199,084	△423
その他の包括利益累計額合計	2,078,950	3,127,366
新株予約権	35,325	33,963
少数株主持分	2,101	4,013
純資産合計	29,787,382	31,010,812
負債純資産合計	53,055,172	53,987,009

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	22,206,919	21,899,757
売上原価	18,571,938	18,031,674
売上総利益	3,634,980	3,868,082
販売費及び一般管理費	3,074,653	3,251,459
営業利益	560,327	616,622
営業外収益		
受取利息	3,319	4,837
受取配当金	142,175	157,491
為替差益	4,565	21,572
受取保険金	70,576	2,000
雑収入	56,237	70,437
営業外収益合計	276,873	256,338
営業外費用		
支払利息	24,049	22,584
雑損失	24,387	29,226
営業外費用合計	48,436	51,811
経常利益	788,764	821,150
特別利益		
固定資産売却益	1,617	7,867
投資有価証券売却益	－	890
特別利益合計	1,617	8,757
特別損失		
減損損失	1,825	－
固定資産売却損	－	687
固定資産除却損	147,319	4,276
投資有価証券評価損	179,222	－
特別損失合計	328,367	4,964
税金等調整前四半期純利益	462,014	824,943
法人税、住民税及び事業税	89,338	124,672
法人税等調整額	8,587	128,059
法人税等合計	97,925	252,732
少数株主損益調整前四半期純利益	364,088	572,211
少数株主利益	－	1,400
四半期純利益	364,088	570,810

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	364,088	572,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531,286	850,266
為替換算調整勘定	26,016	198,661
その他の包括利益合計	557,302	1,048,927
四半期包括利益	921,391	1,621,138
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,391	1,619,226
少数株主に係る四半期包括利益	－	1,912

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	462,014	824,943
減価償却費	759,578	826,756
減損損失	1,825	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△136,794	△145,091
退職給付引当金の増減額（△は減少）	16,960	46,836
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14,113	11,543
受取利息及び受取配当金	△145,494	△162,328
支払利息	24,049	22,584
固定資産売却損益（△は益）	△1,617	△7,180
固定資産除却損	147,319	4,276
投資有価証券評価損益（△は益）	179,222	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△890
売上債権の増減額（△は増加）	54,715	385,773
たな卸資産の増減額（△は増加）	40,962	△208,382
仕入債務の増減額（△は減少）	△75,319	△396,019
その他	86,665	164,092
小計	1,399,975	1,366,914
利息及び配当金の受取額	145,494	162,328
利息の支払額	△23,886	△22,251
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△51,032	△195,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,470,551	1,311,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,145,707	△655,060
有形固定資産の売却による収入	3,421	11,243
投資有価証券の取得による支出	△14,290	△14,951
投資有価証券の売却による収入	－	3,795
貸付けによる支出	△1,700	△11,180
貸付金の回収による収入	3,245	1,245
その他	△13,482	△19,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,168,513	△684,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	231,098	△1,099,304
長期借入れによる収入	－	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△125,185	△175,000
配当金の支払額	△394,672	△396,020
自己株式の取得による支出	△753	△2,705
その他	△36,910	△45,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326,422	△718,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,396	55,082
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△15,988	△36,379
現金及び現金同等物の期首残高	627,426	711,409
現金及び現金同等物の四半期末残高	611,437	675,030

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円)(注)１	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)２
	包装材関連事業(千円)	不動産賃貸事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	22,088,739	118,180	22,206,919	―	22,206,919
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,611,082	21,696	1,632,778	△1,632,778	―
計	23,699,821	139,876	23,839,697	△1,632,778	22,206,919
セグメント利益	630,096	95,854	725,950	△165,623	560,327

(注) １　調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△165,623千円には、主に事業セグメント間取引消去8,028千円、報告セグメント間取引消去45千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,794千円、のれん償却額△13,459千円および未実現利益消去14,922千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間(自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円)(注)１	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)２
	包装材関連事業(千円)	不動産賃貸事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	21,765,720	134,037	21,899,757	―	21,899,757
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,391,202	21,696	1,412,898	△1,412,898	―
計	23,156,923	155,733	23,312,656	△1,412,898	21,899,757
セグメント利益	603,162	81,952	685,114	△68,491	616,622

(注) １　調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△68,491千円には、主に事業セグメント間取引消去5,467千円、報告セグメント間取引消去△183千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,137千円および未実現利益消去13,986千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。